



**Nissan Chemical**  
CORPORATION

未来のための、はじめてをつくる。

# 2024年3月期 第3四半期 決算説明会

説明者 大門秀樹(取締役専務執行役員CFO)

2024年2月9日

**Institutional  
Investor**  
2023 JAPAN EXECUTIVE TEAM  
NISSAN CHEMICALS CORP



# Contents

01

2023年度第3四半期 連結決算報告 P3

02

セグメント概況 P11

03

ESGトピックス P37

04

参考資料 P42

# Contents

● 01

2023年度第3四半期 連結決算報告 P3

02

セグメント概況 P11

03

ESGトピックス P37

04

参考資料 P42

3Q

前年同期比

- 売上高は、1億円減収(-0%)
- 営業利益は、13億円減益(-12%)
- 純利益は、6億円減益(-8%)

1-3Q  
累計※1

前年同期比

- 売上高は、39億円減収(-2%)
- 営業利益は、54億円減益(-14%)
- 純利益は、48億円減益(-16%)

※1 以後、1-3Qと記載

3Q

業績予想比  
(2023年11月発表予想との比較)

- 売上高は、16億円上ぶれ
- 営業利益は、14億円上ぶれ
- 純利益は、3億円上ぶれ

株主還元の様況

- 中間配当70円(前年比:据え置き)
- 自己株式取得  
12月15日発表の追加50億円は取得完了済み(860千株)  
上期実施分も含め合計100億円完了(1,665千株)
- 総還元性向予想85%

■ 通期業績予想は据え置き(2023年度通期営業利益:486億円)

3Q実績は上ぶれたものの、現時点の4Q見通しを踏まえ、通期業績予想は据え置き  
4Qは、現時点で化学品及びディスプレイで一定の下ぶれが発生する可能性あり

# 2023年度3Q決算サマリー 前年同期比

(億円)

	2022年度 実績			2023年度 実績			前年同期比		
	上期	3Q	1-3Q	上期	3Q	1-3Q	上期	3Q	1-3Q
売上高	1,095	497	1,592	1,057	496	1,553	-38 (-4%)	-1 (0%)	-39 (-2%)
営業利益	282	106	388	241	93	334	-41 (-14%)	-13 (-12%)	-54 (-14%)
営業外損益	38	-13	25	21	-5	16	-17	+8	-9
為替差損益	30	-21	9	19	-8	11	-11	+13	+2
経常利益	320	93	413	262	88	350	-58 (-18%)	-5 (-5%)	-63 (-15%)
特別損益	0	0	0	6	0	6	+6	0	+6
純利益※1	237	71	308	195	65	260	-42 (-18%)	-6 (-8%)	-48 (-16%)
EBITDA※2	333	135	468	300	129	429	-33	-6	-39
EPS(円/株)	167.74	50.25	217.99	139.55	46.47	186.02	-28.19	-3.78	-31.97
配当(円/株)	70	-	70	70	-	70	0	-	0
配当総額	99	-	99	98	-	98	-1	-	-1
売上高営業利益率	25.7%	21.4%	24.4%	22.8%	18.8%	21.5%	-2.9pt	-2.6pt	-2.9pt
為替レート(円/ドル)	134	141	137	141	148	143	-	-	-
原油(JCC)(ドル/bbl)※3	112	100	108	83	91	86	-	-	-

※1 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

※3 実績は財務省貿易統計ベース

# 2023年度3Q決算サマリー 業績予想比

(億円)

	2023年度 予想 (2023年11月発表)		2023年度 実績		業績予想比
	3Q	1-3Q	3Q	1-3Q	3Q
売上高	480	1,537	496	1,553	+16
営業利益	79	320	93	334	+14
営業外損益	2	23	-5	16	-7
為替差損益	0	19	-8	11	-8
経常利益	81	343	88	350	+7
特別損益	0	6	0	6	0
純利益※1	62	257	65	260	+3
EBITDA※2	-	-	129	429	-
EPS(円/株)	-	-	46.47	186.02	-
配当(円/株)	-	70	-	70	-
配当総額	-	98	-	98	-
売上高営業利益率	16.5%	20.8%	18.8%	21.5%	-
為替レート(円/ドル)	142	141	148	143	-
原油(JCC)(ドル/bbl)※3	88	85	91	86	-

※1 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

※3 実績は財務省貿易統計ベース

# 営業利益の増減分析

3Q

	2023年度 実績	2022年度 実績	前年同期比	業績予想(2023年11月発表)	業績予想比
	<b>93</b> 億円	<b>106</b> 億円	<b>-13</b> 億円(-12%)	<b>79</b> 億円	<b>+14</b> 億円
化学品	前年同期比 横ばい	メラミン(終売)、テピック減収も、原燃料安により利益横ばい			
	業績予想比 予想通り	環境化学品下ぶれも、原燃料安により利益予想通り			
機能性材料	前年同期比 -6億円	ディスプレイ・半導体増収も、固定費(機能性合計で実質6億円)増加により機能性合計減益			
	業績予想比 5億円上ぶれ	半導体上ぶれ、固定費(機能性合計で実質2億円)下ぶれ(増益要因)により利益上ぶれ			
農業化学品	前年同期比 -2億円	フルララネル増収も、ラウンドアップ等の減収・固定費4億円増加により減益			
	業績予想比 予想通り	グレーシア・ラウンドアップ等下ぶれも、固定費3億円下ぶれ(増益要因)により利益予想通り			
ヘルスケア	前年同期比 -1億円	ファインテック減収			
	業績予想比 2億円上ぶれ	ファインテック上ぶれ			

1-3Q

	2023年度 実績	2022年度 実績	前年同期比	
	<b>334</b> 億円	<b>388</b> 億円	<b>-54</b> 億円(-14%) (うち半導体 -43億円)	
化学品	前年同期比 -12億円	メラミン(終売)、テピック減収により減益		
機能性材料	前年同期比 -34億円 (固定費実質24億円増加)	ディスプレイ増収増益も、半導体減収・固定費増加により機能性合計減益		
農業化学品	前年同期比 -7億円 (固定費12億円増加)	グレーシア増収も、ラウンドアップ・アルテア等の減収・固定費増加により減益		
ヘルスケア	前年同期比 +2億円	売上横ばいも、在庫変動影響(増益要因)により増益		

# 営業外損益・特別損益の内訳 前年同期比

(億円)

	2022年度 実績			2023年度 実績			前年同期比		
	上期	3Q	1-3Q	上期	3Q	1-3Q	上期	3Q	1-3Q
受取利息・配当金	4.5	3.1	7.6	4.4	3.0	7.4	-0.1	-0.1	-0.2
持分法投資損益	6.2	7.8	14.0	4.0	1.0	5.0	-2.2	-6.8	-9.0
為替差損益※1	30.2	-21.1	9.1	18.8	-8.0	10.8	-11.4	+13.1	+1.7
支払利息	-0.9	-0.8	-1.7	-2.6	-1.2	-3.8	-1.7	-0.4	-2.1
固定資産処分損他	-1.7	-2.0	-3.7	-3.6	0.3	-3.3	-1.9	+2.3	+0.4
<b>営業外損益</b>	<b>38.3</b>	<b>-13.0</b>	<b>25.3</b>	<b>21.0</b>	<b>-4.9</b>	<b>16.1</b>	<b>-17.3</b>	<b>+8.1</b>	<b>-9.2</b>
特別利益	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	6.0	+6.0	0.0	+6.0
特別損失	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
<b>特別損益※2</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>6.0</b>	<b>0.0</b>	<b>6.0</b>	<b>+6.0</b>	<b>0.0</b>	<b>+6.0</b>

※1 為替レート(円/ドル): 22/3末 122.41、22/9末 144.81、22/12末 132.70、23/3末 133.54、23/9末 149.58、23/12末 141.82

※2 2023年度1-3Q実績:

特別利益+6.0億円(有価証券売却益6.0億円)



2023年度1-3Q実績のフリー・キャッシュ・フローは218億円、前年同期25億円の減少

(億円)

	2022年度 実績	2023年度 実績	前年同期比
	1-3Q	1-3Q	
営業活動によるキャッシュ・フロー	378	337	-41
税金等調整前純利益	413	357	-56
特別損益(マイナスは益)	0	-6	-6
減価償却費※1	80	95	+15
法人税等の支払	-150	-155	-5
運転資金増減他	35	46	+11
投資活動によるキャッシュ・フロー	-135	-119	+16
設備投資※2	-128	-140	-12
投資有価証券購入・売却	0	7	+7
その他	-7	14	+21
フリー・キャッシュ・フロー	243	218	-25
財務活動によるキャッシュ・フロー	-375	-259	+116
株主還元(配当)	-201	-230	-29
株主還元(自己株式取得)	-50	-58	-8
借入金増減	-123	71	+194
その他※3	-1	-42	-41
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	1	-13
現金及び現金同等物の増減額	-118	-40	+78
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	31	0	-31
現金及び現金同等物の残高	259	257	-2

※1 のれん償却費を含む

※2 無形資産を含む

※3 2023年度1-3Q実績:自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出-42

# 貸借対照表

(億円)

	2022年12月末	2023年3月末	2023年12月末	前期末比
流動資産	1,674	1,894	1,894	0
現預金	259	296	257	-39
売上債権	612	827	642	-185
たな卸資産	702	647	849	+202
その他	101	124	146	+22
固定資産	1,092	1,093	1,203	+110
有形固定資産	620	647	756	+109
無形固定資産	118	115	114	-1
投資有価証券	296	273	275	+2
その他	58	58	58	0
資産合計	2,766	2,987	3,097	+110

	2022年12月末	2023年3月末	2023年12月末	前期末比
負債	604	772	883	+111
買入債務	238	199	234	+35
借入金	108	273	367	+94
その他	258	300	282	-18
純資産	2,162	2,215	2,214	-1
株主資本※1	2,025	2,088	2,061	-27
その他有価証券評価差額金	83	77	86	+9
為替換算調整勘定	20	17	33	+16
非支配株主持分	30	31	33	+2
退職給付に係る調整累計額	4	2	1	-1
負債純資産合計	2,766	2,987	3,097	+110

自己資本比率	77.1%	73.1%	70.4%
D/Eレシオ※2	-7.5%	-1.1%	5.4%

## 投資有価証券(固定資産)の内訳

	2022年12月末	2023年3月末	2023年12月末	前期末比
上場株式※3 (単体ベース保有銘柄数)	183 (29)	169 (26)	179 (26)	+10 (0)
非上場株式	30	24	25	+1
関係会社株式	83	80	71	-9
合計	296	273	275	+2

純資産に占める 政策保有株式の割合※4	9.1%	7.9%	8.3%
------------------------	------	------	------

## 参考

2018年3月末	300 (55)
	17
	68
	385
	17.0%

※1 株主資本増減 -27 = 純利益260 - 配当その他287 ※2 D/Eレシオ = (借入金 - 現預金) / 株主資本

※3 23/3末 169 + 取得0 + 売却・評価差額10 = 23/12末 179 ※4 政策保有株式割合 = 政策保有株式(単体ベース、上場株 + 非上場株) / 純資産(連結ベース)

## Contents

01

2023年度第3四半期 連結決算報告 P3

02

セグメント概況 P11

03

ESGトピックス P37

04

参考資料 P42

# セグメント別 2023年度3Q決算 前年同期比

(億円)

		2022年度 実績			2023年度 実績			前年同期比		
		上期	3Q	1-3Q	上期	3Q	1-3Q	上期	3Q	1-3Q
化学品	売上高	198	101	299	179	96	275	-19 (-10%)	-5 (-4%)	-24 (-8%)
	営業利益	11	4	15	-1	4	3	-12 (-108%)	0 (-14%)	-12 (-81%)
機能性材料	売上高	420	206	626	405	214	619	-15 (-4%)	+8 (+4%)	-7 (-1%)
	営業利益	139	69	208	111	63	174	-28 (-20%)	-6 (-10%)	-34 (-16%)
農業化学品	売上高	357	131	488	353	132	485	-4 (-1%)	+1 (+1%)	-3 (-1%)
	営業利益	121	31	152	116	29	145	-5 (-4%)	-2 (-8%)	-7 (-4%)
ヘルスケア	売上高	32	16	48	35	13	48	+3 (+9%)	-3 (-19%)	0 (0%)
	営業利益	15	6	21	18	5	23	+3 (+24%)	-1 (-29%)	+2 (+7%)
卸売・その他・調整額	売上高	88	43	131	85	41	126	-3	-2	-5
	営業利益	-4	-4	-8	-3	-8	-11	+1	-4	-3
合計	売上高	1,095	497	1,592	1,057	496	1,553	-38 (-4%)	-1 (0%)	-39 (-2%)
	営業利益	282	106	388	241	93	334	-41 (-14%)	-13 (-12%)	-54 (-14%)

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京バイ(旧社名：日本磷酸。硫酸の製造。2023年度より連結子会社化)・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか(内訳はp45,p46参照)

# セグメント別 2023年度3Q決算 業績予想比

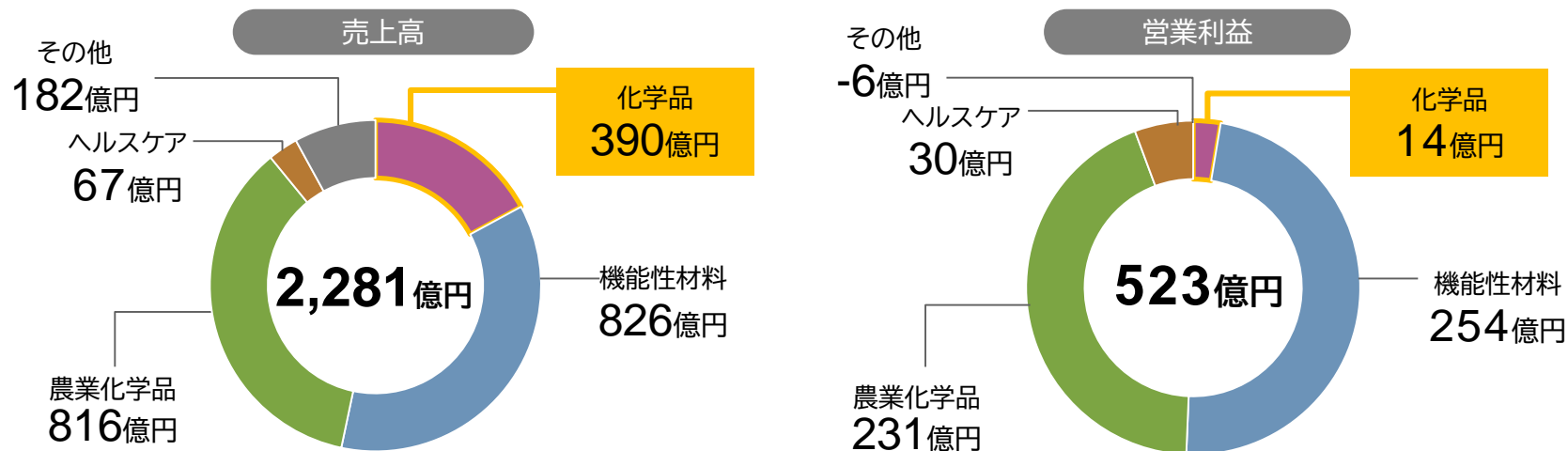
(億円)

		2023年度 予想 (2023年11月発表)		2023年度 実績		業績予想比
		3Q	1-3Q	3Q	1-3Q	3Q
化学品	売上高	105	284	96	275	-9
	営業利益	4	3	4	3	0
機能性材料	売上高	212	617	214	619	+2
	営業利益	58	169	63	174	+5
農業化学品	売上高	139	492	132	485	-7
	営業利益	29	145	29	145	0
ヘルスケア	売上高	11	46	13	48	+2
	営業利益	3	21	5	23	+2
卸売・その他・ 調整額	売上高	13	98	41	126	+28
	営業利益	-15	-18	-8	-11	+7
合計	売上高	480	1,537	496	1,553	+16
	営業利益	79	320	93	334	+14

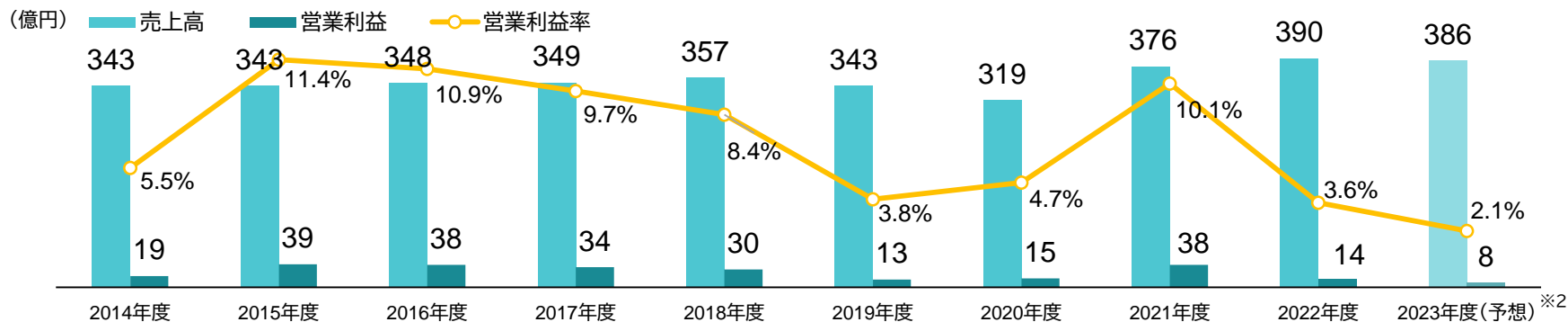
※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ 卸売：日産産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ(旧社名：日本磷酸。硫酸の製造。2023年度より連結子会社化)・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか(内訳はp45,p46参照)

## 2022年度セグメント別業績



## 化学品セグメント業績推移※1



※1 2022年4月に組織改定を実施。2014～2020年度実績は旧セグメント区分。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p48参照)

※2 予想は2023年11月発表

- ファインケミカルは、1-3Qで18%減収、業績予想比でも下ぶれ
- 基礎化学品は、1-3Qで2%減収、業績予想比でも下ぶれ

主要製品	前年同期比		業績予想比
	3Q	1-3Q	3Q
テピック	-11%	-42%	下ぶれ
環境化学品	-2%	+3%	下ぶれ
ファインオキシコール	-3%	-14%	下ぶれ
ファインケミカル合計※1	-7%	-18%	下ぶれ
メラミン※2	-100%	-100%	-
尿素・アドブルー®	-1%	+13%	予想通り
高純度硫酸	+20%	-2%	上ぶれ
硝酸製品	+1%	+22%	下ぶれ
基礎化学品合計※3・4	-3% (+1%)	-2% (+11%)	下ぶれ
化学品セグメント合計※3	-4% (-2%)	-8% (0%)	下ぶれ

※1 テピック、環境化学品、ファインオキシコールの2023年度1-3Q実績ファインケミカル売上高に占める割合：82%

※2 メラミンは2022年6月に生産停止、12月販売終了（p19参照、メラミン生産停止による構造改革）

※3 ()内伸び率はメラミンを除いた合計での伸び率

※4 メラミン、尿素・アドブルー®、高純度硫酸、硝酸製品の2023年度1-3Q実績基礎化学品売上高に占める割合：48%

【3Q】売上高-5億円、営業利益横ばい 【1-3Q】売上高-24億円、営業利益-12億円

(億円)

	2022年度 実績			2023年度 実績			前年同期比		
	上期	3Q	1-3Q	上期	3Q	1-3Q	上期	3Q	1-3Q
売上高	198	101	299	179	96	275	-19	-5	-24
ファインケミカル	77	33	110	60	30	90	-17	-3	-20
基礎化学品	121	68	189	119	66	185	-2	-2	-4
営業利益	11	4	15	-1	4	3	-12	0	-12

【3Q】減収・減益 【1-3Q】減収・減益

ファイン  
ケミカル

テピック一般 【3Q】【1-3Q】とも需要減で減収

テピック電材 【3Q】【1-3Q】とも減収

環境化学品 【3Q】減収 【1-3Q】増収

ファインオキシコール 【3Q】【1-3Q】とも減収

【3Q】原燃料安(増益要因)

【1-3Q】原燃料高(減益要因)

【3Q】減収・増益 【1-3Q】減収・増益

基礎  
化学品

メラミン 【3Q】【1-3Q】とも終売で減収(p19参照)

尿素・アドブルー® 【3Q】横ばい 【1-3Q】増収

高純度硫酸 【3Q】増収 【1-3Q】減収

硝酸製品 【3Q】横ばい 【1-3Q】増収  
(22年度上期硝酸プラントトラブル影響)

【3Q】【1-3Q】ともに原燃料安(増益要因)



【3Q】売上高-9億円、営業利益予想通り

(億円)

	2023年度 予想 (2023年11月発表)		2023年度 実績		業績予想比
	3Q	1-3Q	3Q	1-3Q	3Q
売上高	105	284	96	275	-9
ファインケミカル	37	97	30	90	-7
基礎化学品	68	187	66	185	-2
営業利益	4	3	4	3	0

【3Q】売上高下ぶれ・営業利益予想通り

ファイン  
ケミカル

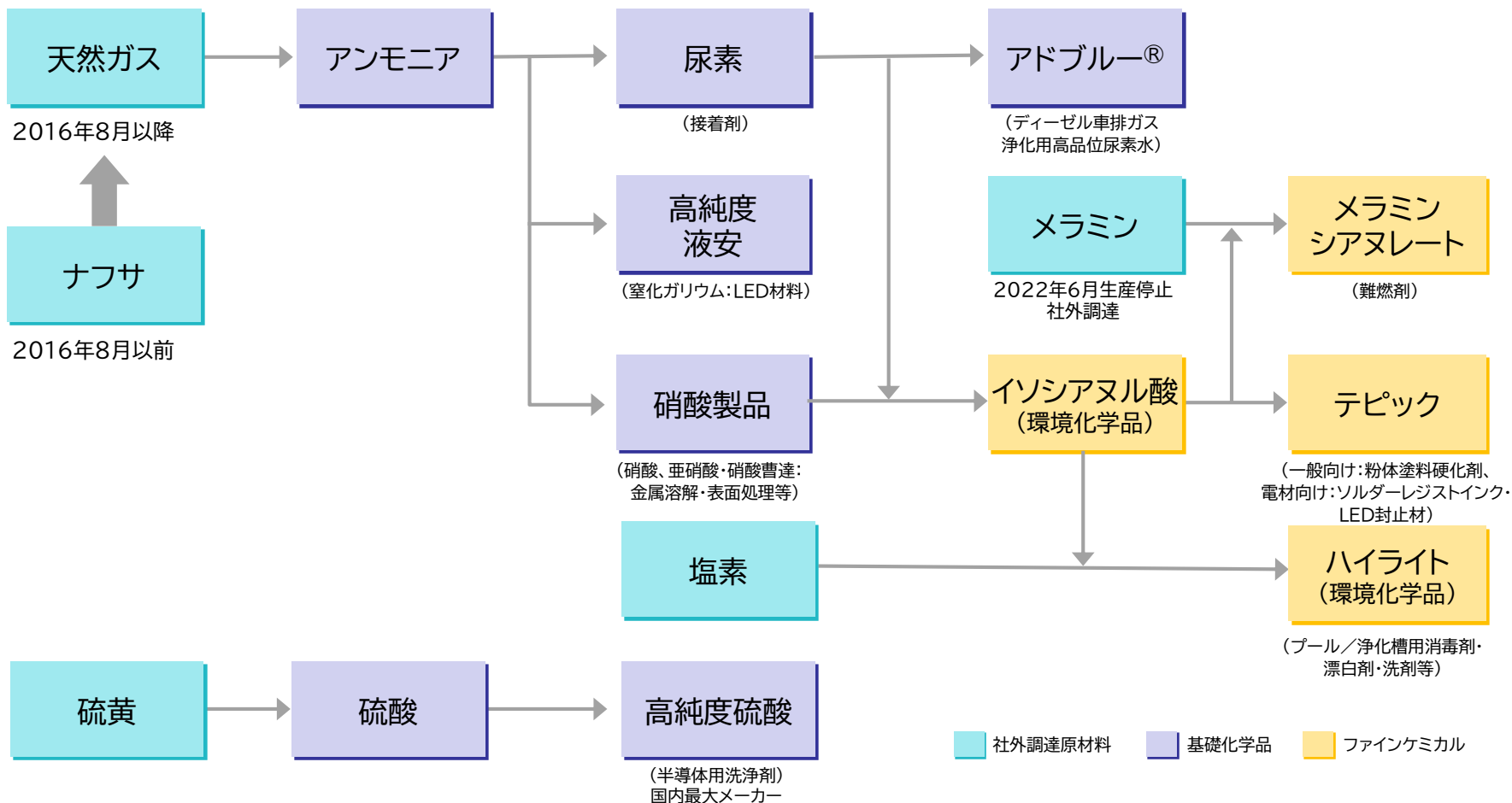
- テピック一般 売上高予想通り
- テピック電材 売上高下ぶれ
- 環境化学品 数量減により売上高下ぶれ
- ファインオキシコール 売上高下ぶれ

【3Q】売上高下ぶれ・営業利益予想通り

基礎  
化学品

- 尿素・アドブルー® 売上高予想通り
- 高純度硫酸 売上高上ぶれ
- 硝酸製品 売上高下ぶれ
- 原燃料安(増益要因)

- 主要製品は、アンモニア系と硫酸系
- 2022年度アンモニア国内生産能力シェアはわずか11%
- 規模を追わず、高純度硫酸やテピックなどの高付加価値製品へ注力



- 2021年8月発表通り、2022年6月にメラミン生産を停止、12月で販売終了
- 今後も高付加価値・高シェア製品へ経営資源を集中

## 1. 化学品事業の売上高・営業利益(2018-2021年度累計)

(億円)

	売上高(構成比)	営業利益(構成比)	主要製品
アンモニア系	925(66%)	19(20%)	アンモニア、尿素・アドブルー®、高純度液安、メラミン、硝酸、シアヌル酸、ハイライト、テピック、メラミンシアヌレート
硫酸系	470(34%)	77(80%)	硫酸、精製硫酸、高純度硫酸
その他			ファインオキシコール等
セグメント合計	1,395(100%)	96(100%)	

※アンモニア系製品中、メラミンが売上高最大も赤字。メラミン以外のアンモニア系製品合計利益は黒字

## 2. メラミンの現状と展望

下記要因から、中長期的に安定的な利益を確保することは困難でリスクの大きい事業、新規投資による利益拡大も望めない

- 世界の生産能力は、需要の2倍(当社推定)
- 国内の生産能力(当社含め2社)は、需要の3倍(当社推定)
- 価格は、21年度下期から22年度1Qまで回復基調だったが、以降急落  
安値中国品(生産能力は世界の約7割を占める)の動向に大きく左右され、不安定

## 3. 対応策

- ① 2022年6月 メラミン生産停止、在庫消滅時点で販売終了
- ② 高付加価値、高シェア製品への資源集中等による拡販
- ③ メラミン操業員は、富山工場内で配置転換
- ④ メラミン誘導品は、原料メラミンを購入品に切り替えて販売継続

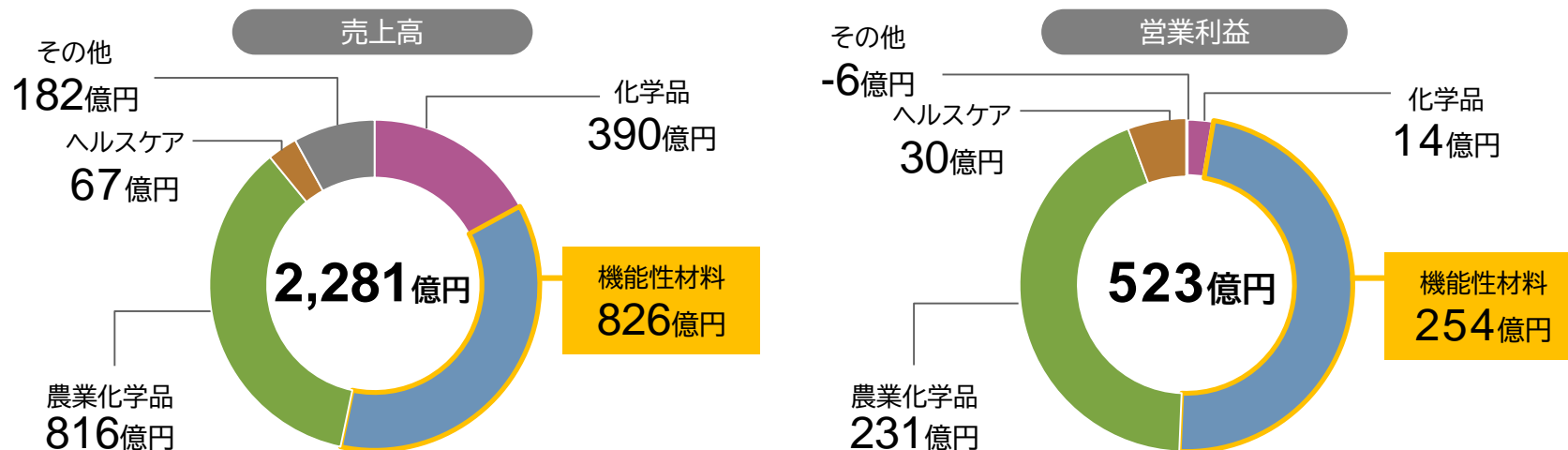
## 4. 構造改革費用

メラミン停止関連諸費用(特別損失17.9億円)は投資有価証券売却益でカバー済み(2021年2Q計上)

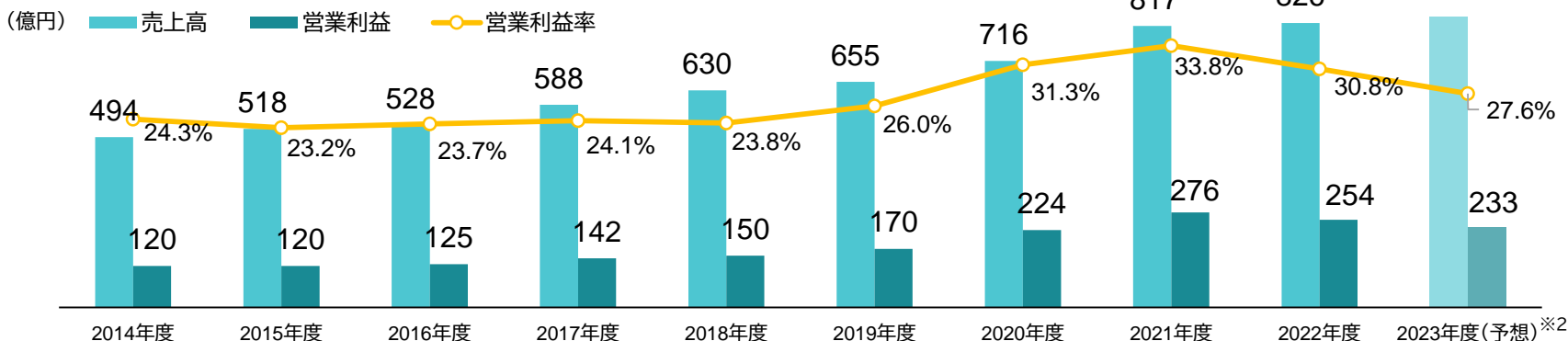
## 5. ESG

メラミン停止によるCO2削減量試算: -26千トン  
→2018年度実績の約7%に相当(p38参照)

## 2022年度セグメント別業績



## 機能性材料セグメント業績推移※1



※1 2022年4月に組織改定を実施。2014～2020年度実績は旧セグメント区分。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p48参照)

※2 予想は2023年11月発表

- ディ스플레이材料は、1-3Qで+13%増収、業績予想比では予想通り
- 半導体材料は、1-3Qで-12%減収、業績予想比では上ぶれ
- 無機コロイドは、1-3Qで-6%減収、業績予想比では予想通り

主要製品	前年同期比		業績予想比
	3Q	1-3Q	3Q
サンエバー	+7%	+13%	予想通り
ディスプレイ材料合計	+7%	+13%	予想通り
ARC®	+3%	-14%	上ぶれ
多層材料	-7%	-19%	下ぶれ
EUV材料※1	+29%	+20%	上ぶれ
半導体材料合計	+4%	-12%	上ぶれ
スノーテックス	-5%	-4%	上ぶれ
オルガノゾル・モノマーゾル	+24%	-1%	上ぶれ
オイル&ガス材料	-70%	-31%	下ぶれ
無機コロイド合計	-5%	-6%	予想通り
機能性材料セグメント合計	+4%	-1%	上ぶれ

※1 EUV材料：EUV向け下層膜とSi-HMの合計

【3Q】売上高+8億円、営業利益-6億円、固定費増加合計実質6億円

【1-3Q】売上高-7億円、営業利益-34億円、固定費増加合計実質24億円(共通費用増加1億円含む)

(億円)

	2022年度 実績			2023年度 実績			前年同期比		
	上期	3Q	1-3Q	上期	3Q	1-3Q	上期	3Q	1-3Q
売上高	420	206	626	405	214	619	-15	+8	-7
営業利益	139	69	208	111	63	174	-28	-6	-34

### 【3Q】増収・減益 【1-3Q】増収・増益

ディスプレイ

光IPS

【3Q】【1-3Q】ともに増収  
(2023年度4Qからの出荷前倒し)

ラビングIPS

【3Q】減収 【1-3Q】増収

VA

【3Q】横ばい  
【1-3Q】増収(一部シェア拡大)

【3Q】固定費増加2億円

【1-3Q】ディスプレイ市場回復、固定費増加3億円

### 【3Q】増収・減益 【1-3Q】減収・減益

半導体

ARC®

【3Q】増収  
【1-3Q】減収

多層材料

【3Q】【1-3Q】ともに減収

EUV材料

【3Q】【1-3Q】ともに増収  
(EUV下層膜は好調を維持し増収)

【3Q】半導体市場徐々に回復、固定費増加実質3億円

【1-3Q】上期半導体市場低調、固定費増加実質17億円(主としてNCK)

### 【3Q】減収・減益 【1-3Q】減収・減益

無機  
コロイド

スノーテックス

【3Q】減収(一般用途増収、研磨剤減収)  
【1-3Q】減収(一般用途横ばい、研磨剤減収)

オルガノ・モノマーゾル

【3Q】増収 【1-3Q】横ばい

オイル&amp;ガス材料

【3Q】【1-3Q】ともに減収

【3Q】固定費増加1億円

【1-3Q】固定費増加3億円

【3Q】売上高+2億円、営業利益+5億円、固定費下ぶれ合計実質2億円(増益要因)

	2023年度 予想 (2023年11月発表)		2023年度 実績		業績予想比
	3Q	1-3Q	3Q	1-3Q	3Q
	売上高	212	617	214	619
営業利益	58	169	63	174	+5

(億円)

### 【3Q】売上高予想通り・営業利益上ぶれ

ディスプレイ

光IPS

売上高上ぶれ  
(2023年度4Qからの出荷前倒し)

ラビングIPS

売上高下ぶれ

VA

売上高下ぶれ

固定費上ぶれ1億円

### 【3Q】売上高・営業利益とも上ぶれ

半導体

ARC®

売上高上ぶれ

多層材料

売上高下ぶれ

EUV材料

売上高上ぶれ

半導体市場徐々に回復  
固定費下ぶれ実質2億円

### 【3Q】売上高予想通り・営業利益上ぶれ

無機  
コロイド

スノーテックス

売上高上ぶれ  
(一般用途上ぶれ・研磨剤予想通り)

オルガノ・モノマーゾル

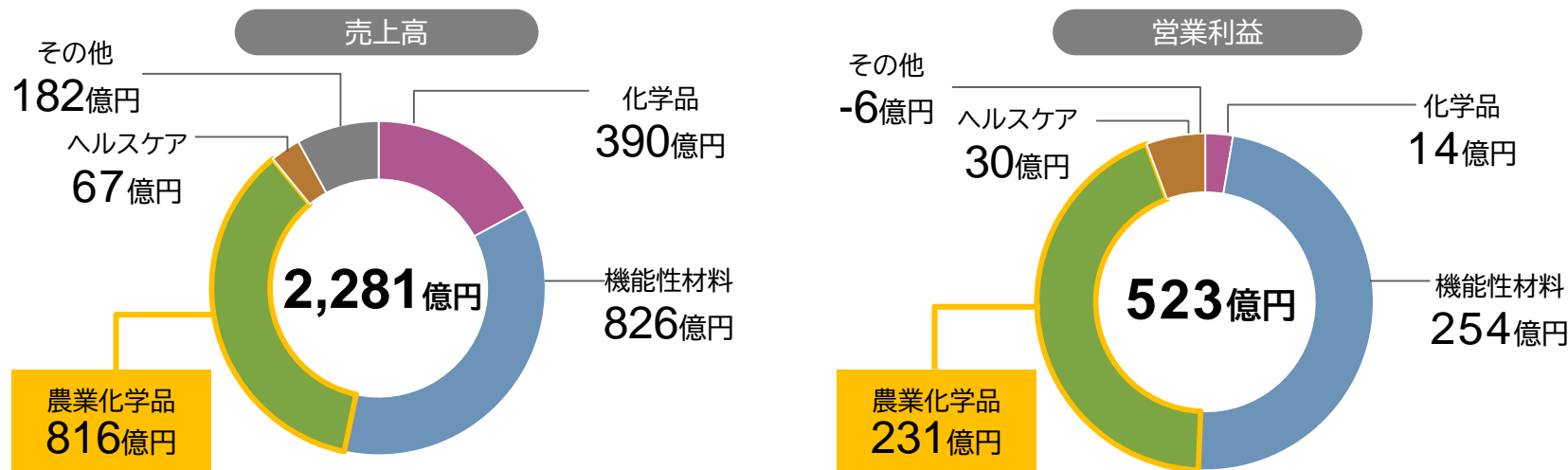
売上高上ぶれ

オイル&ガス材料

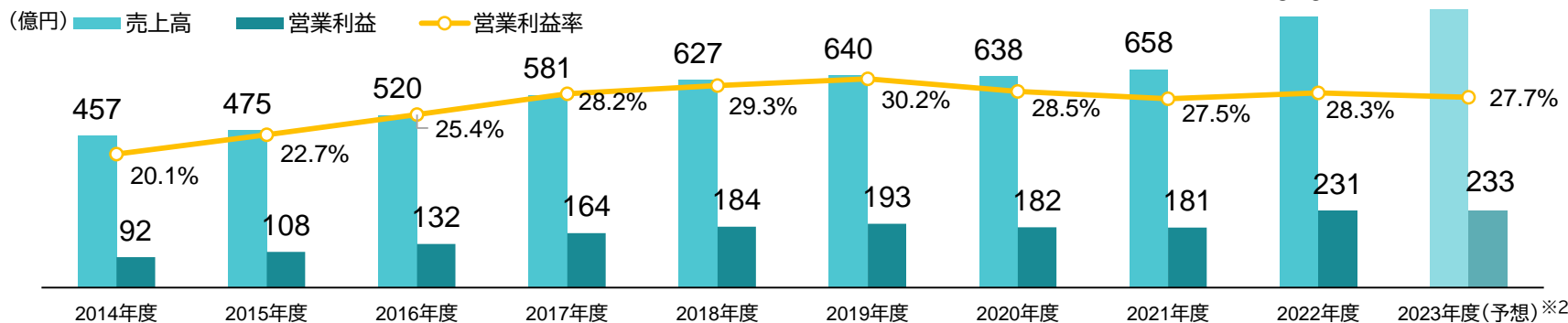
売上高下ぶれ

固定費下ぶれ1億円

## 2022年度セグメント別業績



## 農業化学品セグメント業績推移※1



※1 2022年4月に組織改定を実施。2014～2020年度実績は旧セグメント区分。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p48参照)

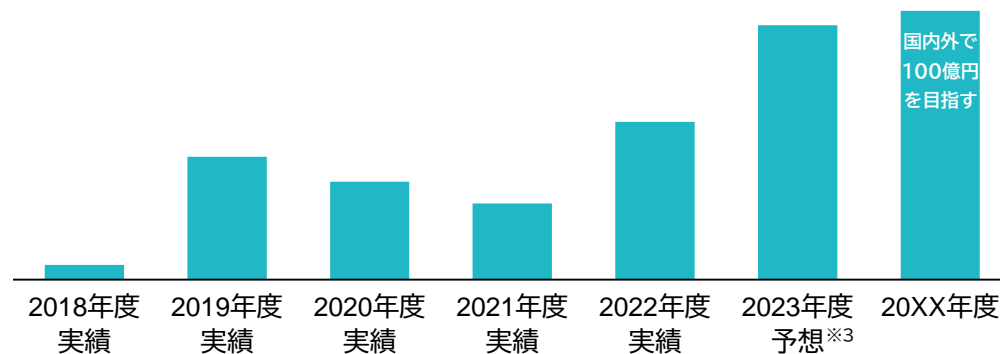
※2 予想は2023年11月発表



■ 1-3Qで1%減収、業績予想比でも下ぶれ

主要製品名 (農薬:2022年度売上高順)	種類	前年同期比		業績予想比	
		3Q	1-3Q	3Q	
農薬	ラウンドアップ <sup>※1</sup>	除草剤	-28%	-12%	下ぶれ
	アルテア	除草剤	-9%	-14%	予想通り
	タルガ	除草剤	+41%	+8%	上ぶれ
	ライメイ	殺菌剤	-33%	-45%	下ぶれ
	グレーシア	殺虫剤	-7%	+56%	下ぶれ
	ダイセン	殺菌剤	+16%	+3%	下ぶれ
	パーミット	除草剤	-63%	-6%	上ぶれ
動物薬	フルララネル	動物薬	+10%	+6%	上ぶれ
セグメント合計 <sup>※2</sup>		-	+1%	-1%	下ぶれ

■ グレーシア売上高



参考

[ラウンドアップの現状説明会資料](#)

(2020年1月22日発表)

[農業化学品事業説明会資料](#)

(2022年9月28日発表)

※1 ラウンドアップALは、2023年度1-3Q実績のラウンドアップ売上高全体の31%を占める

※2 セグメント合計の前年同期比は値引きを含む

※3 2023年11月発表

【3Q】売上高+1億円、営業利益-2億円、固定費増加4億円

【1-3Q】売上高-3億円、営業利益-7億円、固定費増加12億円

(億円)

	2022年度 実績			2023年度 実績			前年同期比		
	上期	3Q	1-3Q	上期	3Q	1-3Q	上期	3Q	1-3Q
売上高	357	131	488	353	132	485	-4	+1	-3
営業利益	121	31	152	116	29	145	-5	-2	-7

主要製品

ラウンドアップ(除草剤)	【3Q】減収 (ML:減収、22年度は値上げ前の駆け込み需要あり、AL:増収) 【1-3Q】減収 (ML・ALともに天候不良や流通在庫影響により減収)
アルテア(除草剤)	【3Q】減収 (国内:減収、22年度は値上げ前の駆け込み需要あり、輸出:増収) 【1-3Q】減収 (国内:減収、22年度は値上げ前の駆け込み需要あり、輸出:韓国向け減収)
タルガ(除草剤)	【3Q】【1-3Q】ともに増収 (輸出:23年度4Qからの出荷前倒し)
ライメイ(殺菌剤)	【3Q】【1-3Q】ともに減収 (輸出:流通在庫影響により欧州向け数量減)
グレーシア(殺虫剤)	【3Q】減収 (国内:増収、輸出:インド向け天候不良により数量減) 【1-3Q】増収 (国内:増収、輸出:インドでの拡販)
ダイセン(殺菌剤)	【3Q】【1-3Q】ともに増収 (輸出:韓国向け増収)
パーミット(除草剤)	【3Q】減収 (輸出:23年度は上期に販売が偏重) 【1-3Q】減収
フルララネル(動物薬)	【3Q】【1-3Q】ともに増収 (原薬・ロイヤリティ収入ともに増収、一部円安影響あり)

【3Q】売上高-7億円、営業利益予想通り、固定費下ぶれ3億円(増益要因)

(億円)

	2023年度 予想 (2023年11月発表)		2023年度 実績		業績予想比
	3Q	1-3Q	3Q	1-3Q	3Q
売上高	139	492	132	485	-7
営業利益	29	145	29	145	0

主要製品

ラウンドアップ(除草剤)	売上高下ぶれ(ML:23年度4Qへ出荷後ろ倒し、AL:上ぶれ)
アルテア(除草剤)	売上高予想通り
タルガ(除草剤)	売上高上ぶれ(輸出:23年度4Qからの出荷前倒し)
ライメイ(殺菌剤)	売上高下ぶれ(国内:下ぶれ、輸出:上ぶれ)
グレーシア(殺虫剤)	売上高下ぶれ(輸出:23年度4Qへ出荷後ろ倒し、インド向け天候不良により数量減)
ダイセン(殺菌剤)	売上高下ぶれ
パーミット(除草剤)	売上高上ぶれ
フルララネル(動物薬)	売上高上ぶれ(原薬・ロイヤリティ収入ともに上ぶれ、一部円安影響あり)

上市年度	製品名	分類	開発経緯	備考
2002	ラウンドアップ	除草剤	買収	米国モンサント社より国内事業を買収、継続成長中
2008	ライメイ	殺菌剤	自社開発	
2008	スターマイト	殺虫剤	自社開発	
2009	パルサー(チフルザミド)	殺菌剤	買収	米国ダウ社より世界事業を買収
2010	ラウンドアップマックスロードAL	除草剤	自社開発	一般家庭向け希釈済みシャワータイプ除草剤。2016年AⅡ、2018年AⅢ上市、急成長
2011	アルテア	除草剤	自社開発	2011年韓国で上市、2012年日本で上市
2013	フルララネル	動物用医薬品原薬	自社開発	米国MSD社※1向けにプラバクト®原薬として出荷開始
2014	プラバクト®※2	ペット動物用医薬品	-	2014年4月欧州、6月米国、15年7月日本で上市
2017	トランスフォーム™/エクシード™ /ビレスコ™	殺虫剤	導入	米国ダウ社より導入
2018	グレーシア	殺虫剤	自社開発	広範囲の重要害虫に有効、ミツバチへの影響が少ない。2018年韓国、2019年日本、2021年インド・インドネシアで上市(ピーク時売上高目標100億円)
2019	クインテック(キノキシフェン)	殺菌剤	買収	2019年11月米国コルテバ社より世界事業を買収。果樹野菜のうどんこ病(カビの1種)の発病予防に非常に効果的
2020	ダイセン(マンゼブ)	殺菌剤	買収	2020年12月米国コルテバ社より日本・韓国事業を買収。果樹野菜用の保護除菌剤、耐雨性に優れる
2024	未定(ジメスルファゼット) (NC-653)	除草剤	自社開発	イネへの優れた安全性があり、抵抗性ホタルイや難防除雑草クログワイに高い効果を持つ(ピーク時売上目標35億円)
2025	未定(NC-520)	殺虫剤	共同開発	他社との共同開発の新規水稻用殺虫剤。ウンカ類への効果が高い(混合剤も含めピーク時売上目標25億円)
2027	未定(イプトリアゾピリド) (NC-656)	除草剤	自社開発	抵抗性イネ科雑草(ヒエ・アゼガヤ)に優れた効果を持つ。当社初の水稻用茎葉除草剤(ピーク時売上高目標100億円)

既存製品

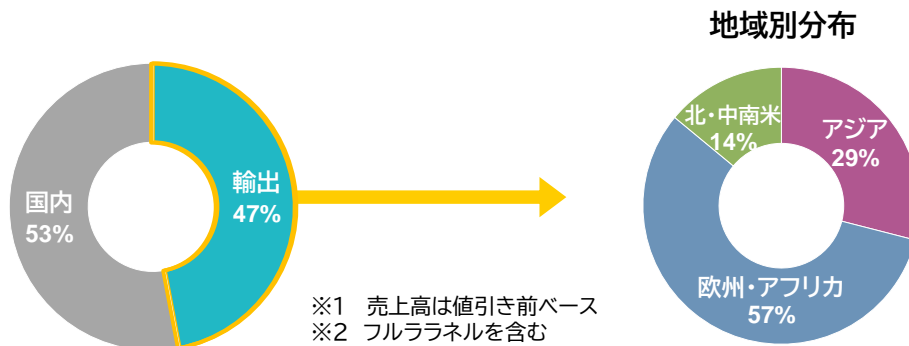
新製品・パイプライン

新製品群の  
ピーク時売上高  
目標合計  
**310**億円

※1 MSD社:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称 ※2 プラバクト®:MSD社の販売製品名

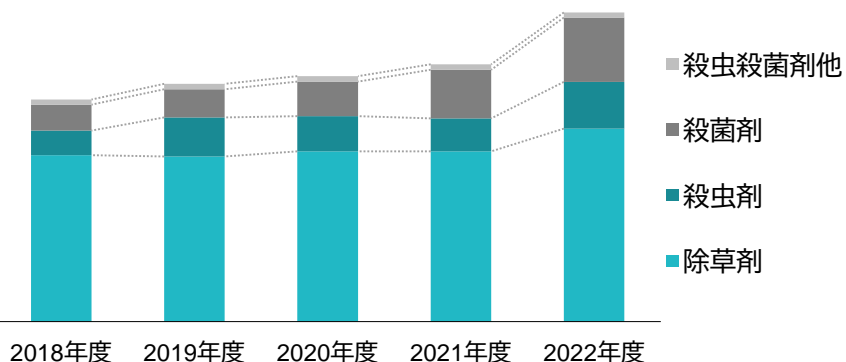
国内農薬販売 第1位(2021年10月~2022年9月)  
 農薬売上高は国内向けの方が海外向けよりも大きい

■ 農業化学品セグメントの輸出比率(2022年度実績)※1・2

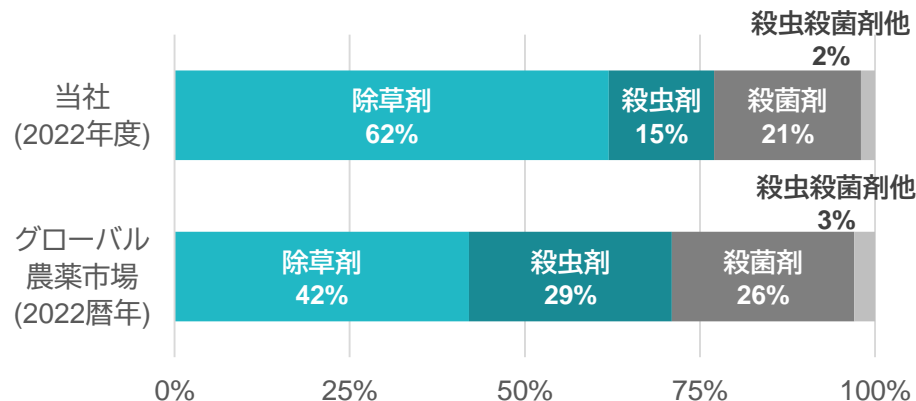


既存剤の拡販、自社開発剤の上市、剤の買収・導入により、製品ポートフォリオの拡充を進める

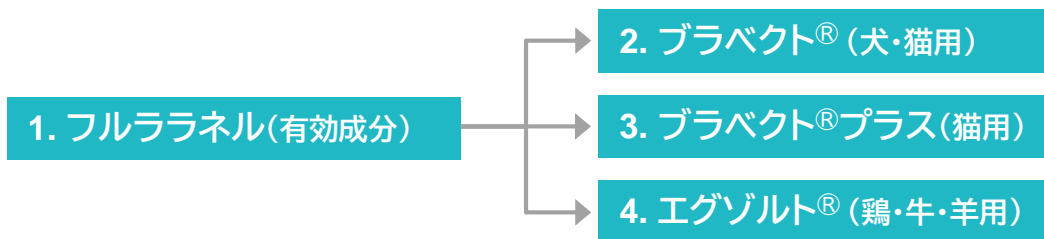
■ 当社の農薬売上高推移



■ 当社の農薬売上高構成比



- 当社が発明した化合物「フルララネル」を有効成分とするブラベクト®シリーズ・エグゾルト®は現在100か国以上で販売中
- ブラベクト®最大の特徴は12週間にわたる効果持続性(既存製品は1か月程度)



## 1. フルララネル(Fluralaner)

- ブラベクト®・エグゾルト®の有効成分。当社がMSD社※1に供給
- これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有している
- 化合物特許
  - 2025年3月に終了するが、多数の国で延長制度あり
  - UK、ドイツ、フランス等一部欧州諸国では、2029年2月まで延長済み、米国は延長申請中

## 2. ブラベクト® (BRAVECTO®)

- MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬。犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れる
- 通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間※2にわたって持続する
- 犬向けチュアブルタブレット(経口投与製剤)
  - 2014年4月欧州、以降米国、日本等で上市
  - 2020年7月1か月剤(子犬向け)米国上市
- 犬、猫向けスポットオン製品(経皮投与製剤)
  - 2016年7月欧州、以降米国、日本等上市

## 3. ブラベクト®プラス (BRAVECTO® Plus)

- 猫向け内外寄生虫スポットオン合剤
  - 2018年7月欧州、以降米国、日本等上市

## 4. エグゾルト® (EXZOLT®)

- 鶏向けワクモ駆除剤(飲水投与)
  - 2017年9月欧州、以降韓国、中東等上市、2021年7月日本上市
- 牛向け
  - 2022年9月ブラジル上市、2023年4月メキシコ上市
- 羊向け
  - 2023年3月豪州、11月NZ販売承認

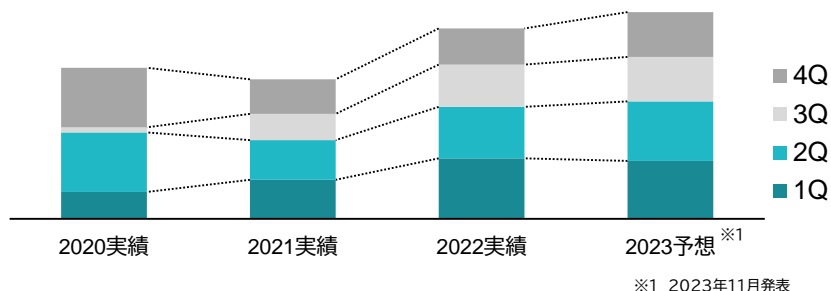
※1 米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称

※2 クリロコイタマダニは8週間

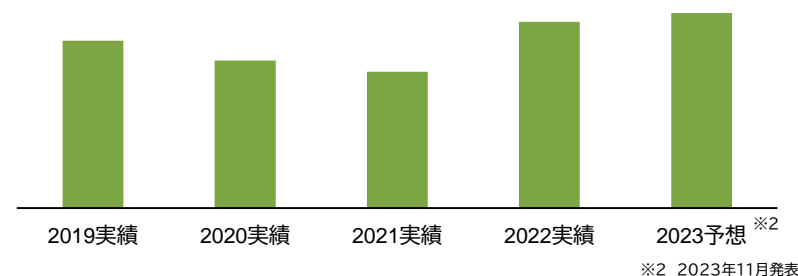
## ■ 当社のフルララネル売上高の構成

MSD社へのフルララネル販売 + MSD社からのランニングロイヤリティ(RR)

## ■ 2020～2023年度 四半期別売上高推移 (RR収入含む)



## ■ 2019～2023年度 売上高推移 (RR収入含む)



ロイヤリティ収入は、2020年度まで2・4Q計上であったが、会計方針の変更にともない、2021年度からは各四半期に計上されている(p47参照)

- ・フルララネルの在庫調整は2021年度で完了
- ・2022年度は、2021年度からの出荷後ろ倒しと円安影響により大幅増収。実績為替レートは136円/ドル
- ・2023年度の想定為替レートは142円/ドル

## ■ ブラベクト®の拡大に向けたMSD社の開発状況

- フルララネルを有効成分とするペット向けの新たな内外部寄生虫薬をMSD社が開発中
- 2023年5月 犬向け外部寄生虫注射剤BRAVECTO Quantum™が豪州にて承認(特徴:12か月<sup>※3</sup>の効果持続性)

※3 クライロコイタマダニは11か月

- グローバルな安定供給と製造コスト削減を目指した新たな原体生産拠点
- 計画通り設立完了し、2022年度よりNBRを連結子会社に追加。2023年3月から商業稼働を開始
- 2023年度は想定通り単体黒字化を見込む

## Nissan Bharat Rasayan Private Limited(NBR)概要

本社所在地	ハリヤナ(Haryana)州グルガオン(Gurgaon)(ニューデリー近郊)
工場所在地	グジャラート(Gujarat)州サイカ(Saykha)に新設 (土地は同州産業開発公社(GIDC)より賃借)
営業開始日	2020年4月1日
事業内容	当社の農業(グレーシア、ライメイ等)原体を製造し、 当社へ販売
従業員数	約120名(2023年4月1日時点)
工場稼働時期	2022年度4Qより稼働開始
株主	当社70%、Bharat Rasayan Ltd(略称BRL)30%
取締役会	当社指名5名、BRL指名2名、中立1名、合計8名

## Bharat Rasayan Ltd(BRL)概要

設立	1989年(インド大手農薬製造販売会社)
上場	インド国立証取(NSE)、ボンベイ証取(BSE)
主要株主	グプタ(Sat Narain Gupta)会長等創業家一族74.99%
損益状況	2022年度売上高12,343百万ルピー、税引後利益1,246百万ルピー
工場	グジャラート州(Gujarat)ダヘジ(Dahej)、ハリヤナ州(Haryana) ロータク(Rohtak)の2工場
当社との関係	一部当社品を受託生産、グループ会社のBharat Certis Agriscienceが タルガ、パルサー、パーミットをインド国内で販売

## 資金計画 (2022年5月発表時点)

(億円)

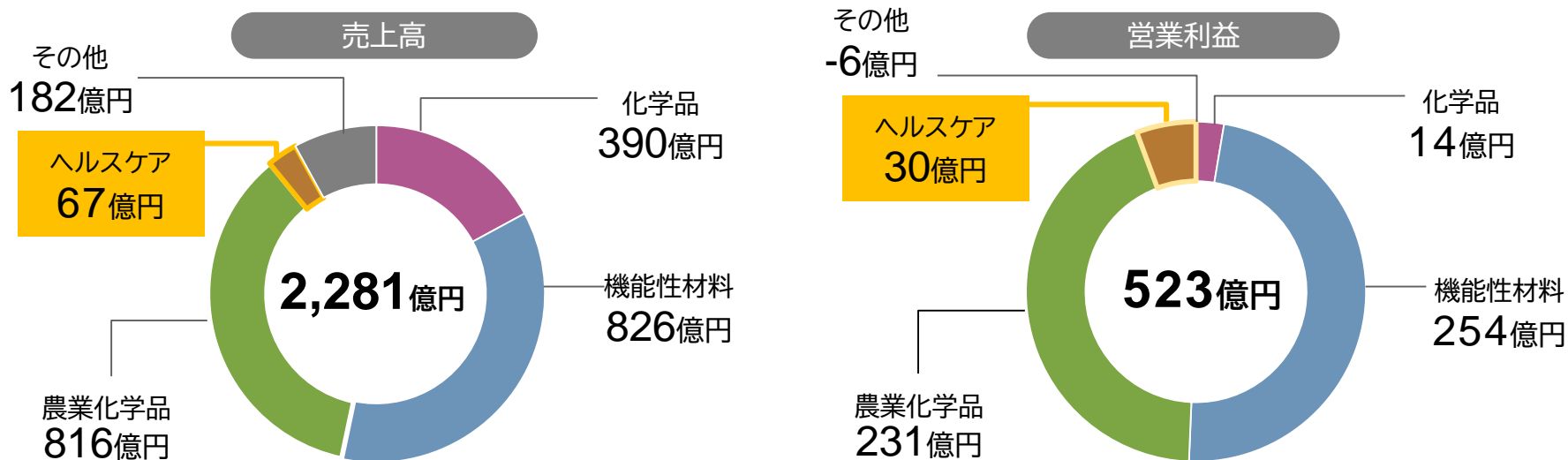
設備投資	60	資本金	23
運転資金他	28	当社貸付	65
所要資金合計	88	資金調達合計	88

### 当社メリット

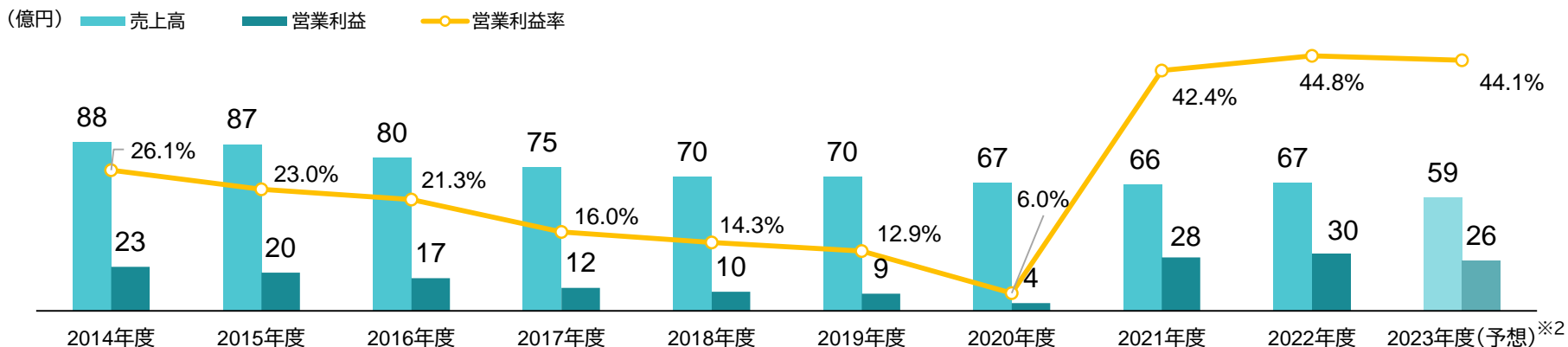
- 信頼できる経験豊富な現地パートナーの協力体制
- 有効成分の供給源の多様性・安全性確保と、原料不足リスクの低減
- 国内工場に比べて低い製造コスト
- すぐに利用できる工場用地(借地権の正式認可手続き完了済み)
- 既存の現地企業のM&Aに比べ、経営・財務リスクを大幅に軽減



### 2022年度セグメント別業績



### ヘルスケアセグメント業績推移<sup>※1</sup>



※1 2022年4月に組織改定を実施。2014~2020年度実績は旧セグメント区分。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p48参照)

※2 予想は2023年11月発表

## リバロ

2003年に興和から上市した高コレステロール血症治療薬。現在、世界30か国以上で販売中

売上高の推移	2020年度 <sup>※2</sup>	2021年度	2022年度	2023年度 予想 <sup>※3</sup> (2023年11月発表)
前年同期比増減率	-30%	-17%	0%	-13%
うち国内	+6%	+30%	-17%	-32%
うち海外	-35%	-28%	+7%	-7%
2012年度比増減率 <sup>※1</sup>	-73%	-78%	-78%	-81%

※1 2013年8月 国内物質特許満了。2012年度がリバロ売上高(国内外計)のピーク

※2 2020年8月 欧州で市場独占期間満了

※3 2023年11月 米国ジェネリック参入

## ファインテック

課題解決型受託事業として、前臨床から商業生産まで新薬の原薬・中間体製造プロセス研究を受託  
特に近年は高活性・高付加価値ジェネリック原薬を中心に新規案件獲得に注力

### ■ 高付加価値ジェネリック原薬の販売状況

販売開始年度	原薬	用途
2016	マキサカルシトール	尋常性乾癬／二次性副甲状腺機能亢進症治療
2017	エルデカルシトール	骨粗しょう症治療

### ■ ファインテック売上高の推移 (2014～2023年度)

(億円)

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 予想 (2023年11月発表)
18	23	24	25	26	29	38	42	43	38

【3Q】売上高-3.0億円、営業利益-1.9億円 【1-3Q】売上高横ばい、営業利益+1.6億円

(億円)

	2022年度 実績			2023年度 実績			前年同期比		
	上期	3Q	1-3Q	上期	3Q	1-3Q	上期	3Q	1-3Q
売上高	32.5	15.9	48.4	35.5	12.9	48.4	+3.0	-3.0	0.0
ヘルスケア	14.2	3.5	17.7	12.9	5.9	18.8	-1.3	+2.4	+1.1
ファインテック	18.3	12.4	30.7	22.6	7.0	29.6	+4.3	-5.4	-1.1
営業利益	14.6	6.6	21.2	18.1	4.7	22.8	+3.5	-1.9	+1.6
ヘルスケア	6.3	1.0	7.3	5.7	1.8	7.5	-0.6	+0.8	+0.2
ファインテック	8.3	5.6	13.9	12.4	2.9	15.3	+4.1	-2.7	+1.4

※ p12,p13,p45,p46では億円未満を四捨五入して表示しており、これにより本ページの数字と合致しない場合がある

ヘルスケア

### 【3Q】増収・増益 【1-3Q】増収・増益

リバロ

【3Q】増収 (国内・輸出とも増収)  
【1-3Q】増収 (国内減収、輸出増収)

ファイン  
テック

### 【3Q】減収・減益 【1-3Q】減収・増益

【3Q】【1-3Q】ともに24年度へ一部出荷後ろ倒しにより減収  
【1-3Q】在庫変動影響(増益要因)

## 【3Q】売上高+2.3億円、営業利益+1.4億円

(億円)

	2023年度 予想 (2023年11月発表)		2023年度 実績		業績予想比
	3Q	1-3Q	3Q	1-3Q	3Q
売上高	10.6	46.1	12.9	48.4	+2.3
ヘルスケア	5.8	18.7	5.9	18.8	+0.1
ファインテック	4.8	27.4	7.0	29.6	+2.2
営業利益	3.3	21.4	4.7	22.8	+1.4
ヘルスケア	2.0	7.7	1.8	7.5	-0.2
ファインテック	1.3	13.7	2.9	15.3	+1.6

※ p12,p13,p45,p46では億円未満を四捨五入して表示しており、これにより本ページの数字と合致しない場合がある

ヘルスケア

## 【3Q】売上高上ぶれ、営業利益下ぶれ

リバロ

売上高上ぶれ(国内上ぶれ、輸出下ぶれ)

ファイン  
テック

## 【3Q】売上高・営業利益とも上ぶれ

売上高上ぶれ

# Contents

01

2023年度第3四半期 連結決算報告 P3

02

セグメント概況 P11

03

ESGトピックス P37

04

参考資料 P42

E

(環境)

S

(社会)

- 2021年4月      ダイバーシティステートメントおよびダイバーシティビジョンを設定
- 2022年5月      2050年にカーボンニュートラルへ  
温室効果ガス(GHG)排出削減長期目標を設定(詳細はp41参照)
- 2022年6月      メラミン停止によるGHG削減(26千トン、2018年度実績の約7%に相当)
- 2022年6月      気候変動対策委員会設置
- 2023年9月      「[統合レポート2023](#)」を発行

G

(ガバナンス)

- 2019年4月      指名・報酬諮問委員会設置(取締役会の任意の諮問機関)
- 2019年6月      取締役等を対象に業績連動型株式報酬制度導入(株式給付信託)
- 2022年6月      役員報酬体系にESG指標を組入れ(基本報酬65%、業績報酬28%、株式報酬7%  
業績報酬28%のうち、利益連動部分90%、ESG連動部分10%)
- 2023年6月      女性取締役(社外)2名選任(選任後、取締役は計10名、うち社外4名)
- 2023年12月      「[コーポレートガバナンス報告書](#)」を更新

## Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index

- 2023年12月  
6年連続で構成銘柄に選定

Member of  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**  
Powered by the S&P Global CSA

## S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数

- 2023年6月  
5年連続で構成銘柄に選定



## FTSE

- 2023年6月 FTSE4Good Index Series、FTSE Blossom Japan Indexの構成銘柄に4年連続選定
- 2023年6月 FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの構成銘柄に2年連続選定

※ FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここに日産化学株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index



FTSE Blossom  
Japan



FTSE4Good

## 健康経営優良法人 -ホワイト500-

- 2023年3月 7年連続認定



## GPIFの運用機関が選ぶ統合報告書

- 2022年2月 「優れた統合報告書」に2年連続選定
- 2023年2月 「改善度の高い統合報告書」に選定

## 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)

- 2020年8月に賛同表明



## MSCI

- 2023年6月 日本株女性活躍指数 (WIN)  
4期連続構成銘柄に選定
- 2023年6月 MSCI ESG格付け  
BBBからAへ格上げ

## 2023 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

※ MSCI指数への日産化学株式会社の組み入れ、および本ページにおけるMSCIロゴ、商標、サービスマーク、または指数名称の使用は、MSCIまたはその関係会社による日産化学株式会社の後援、保証、または販売促進ではありません。MSCI指数は、MSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCI指数の名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

## Morningstar

- 2023年3月 Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Indexの構成銘柄に選定

## 「子育てサポート企業」くるみん

- 2023年1月 2回連続認定



## GXリーグ

- 2023年2月に賛同表明
- 2023年4月から参画



2027年の企業像実現のため、当社が取り組むべきマテリアリティ(重要課題)を特定  
取り組みを推進することで社会とともに持続的な成長を目指す

▶▶▶1

人びとの暮らしに役立つ  
新たな価値の提供

▶ 日産化学サステナブル  
アジェンダ<sup>※1</sup>

社会課題解決に貢献する製品・  
サービスの全売上に占める割合  
**55%以上維持**

<sup>※1</sup> 社会課題解決に貢献する製品・サービスの提供により、  
「地球と人の未来のためにできること」を追求する計画

▶▶▶2

自社事業基盤の強化

▶ 人材の確保・育成  
人材育成に関する社員意識調査  
肯定回答率  
**65%以上**

▶ ダイバーシティ推進  
研究所女性総合職比率 **18%以上**

▶▶▶3

レスポンシブル・ケア活動の  
継続的強化

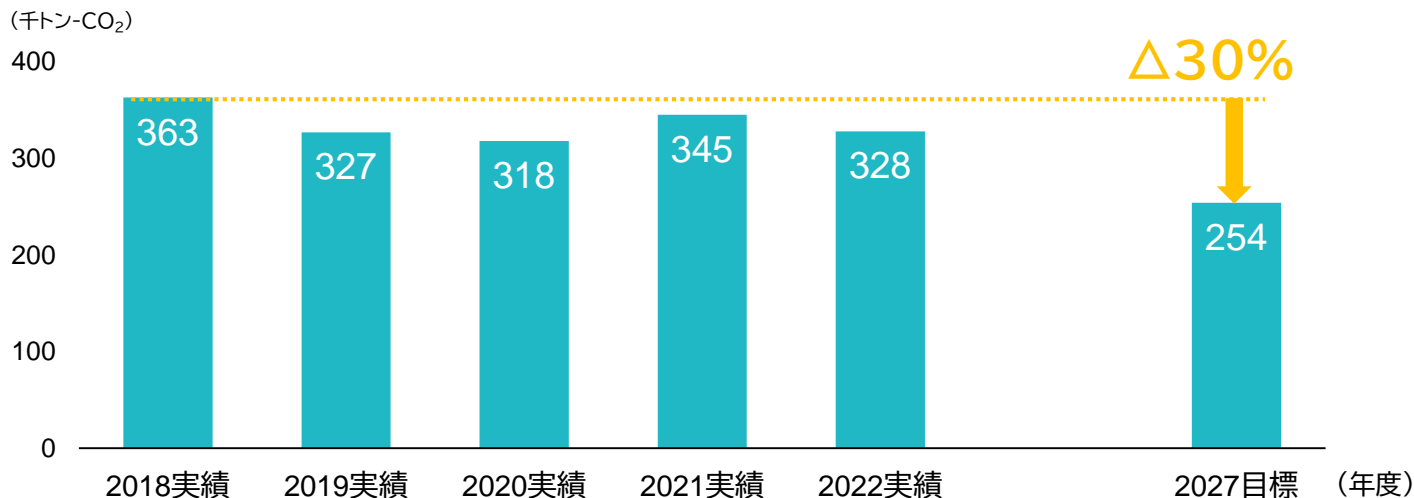
▶ GHG排出削減目標  
2018年度比 **30%以上削減**

当社グループの最重要課題

コーポレート・ガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンスの強化



- 2050年のカーボンニュートラル実現に向け、従来の取り組みに加え、生産技術の改善や再生エネルギー導入などに注力する
- GHG排出量2027年度目標:2018年度比30%削減(SCOPE1+2)



## 他社とのGHG排出量の比較

(千トン-CO<sub>2</sub>)

年度	2011	2018	2019	2020	2021
日産化学	448	363	327	318	345
大手総合化学4社平均 (単体ベース)	-	-	5,845	5,581	-

## 中期経営計画 Vista2027 (2022-2027年度)における取り組み

- 硝酸プラントからのN<sub>2</sub>O排出ゼロ  
(予定投資額 500百万円 変動費50百万円/年)
- メラミン製造中止
- 小野田工場燃料転換
- ICP本格導入によるGHG排出削減推進
- フロン機器の削減
- 省エネ機器への更新

# Contents

01

2023年度第3四半期 連結決算報告 P3

02

セグメント概況 P11

03

ESGトピックス P37

04

参考資料 P42

# 長期業績推移

(億円)

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 (予想)
売上高	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	2,080	2,281	2,275
営業利益	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	425	510	523	486
経常利益	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	362	391	400	439	537	558	513
純利益	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	271	294	308	335	388	411	384
EBITDA	269	316	305	345	276	301	303	259	291	308	338	383	403	455	480	492	530	612	633	630
売上高営業利益率	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	24.5%	22.9%	21.4%
ROE	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	16.1%	16.6%	16.9%	17.5%	19.2%	19.4%	17.3%
EPS(円/株)	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	180.30	197.67	210.09	231.73	271.88	291.36	275.76
配当(円/株)	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	68	82	90	104	122	164	164
配当性向	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	37.7%	41.5%	42.8%	44.9%	44.9%	56.3%	59.5%
自己株式取得	-	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	90	90	90	100	100	120	90	-
総資産	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	2,460	2,470	2,495	2,655	2,797	2,987	-
純資産	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	1,764	1,821	1,855	2,006	2,080	2,215	-
現預金	43	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	357	377	362	306	324	347	296	-
有利子負債	446	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	308	286	266	246	227	227	273	-
自己資本比率	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	71.0%	73.0%	73.7%	74.9%	73.6%	73.1%	-
設備投資	52	110	77	138	107	144	87	89	81	91	87	95	135	144	99	155	143	124	194	225
減価償却費	96	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	89	105	109	105	104	102	110	144
R&D	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	172	178	172	165	160	168	170
同 売上高比率	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	8.9%	8.7%	8.3%	7.9%	7.7%	7.4%	7.5%

※ 2021- :会計方針の変更影響を含む(p47参照)

※ 2023(予想):2023年11月発表。ROE、EPS、配当性向は自己株式の取得(100億円、2024年2月完了)を反映し更新

※ 設備投資:キャッシュ・フローベース

# セグメント別売上高・営業利益推移

## 売上高 (A)

(億円)

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 (予想)
化学品	369	345	355	343	343	348	349	357	343	319	376	390	386
機能性材料	340	374	428	494	518	528	588	630	655	716	817	826	845
農業化学品	338	354	391	457	475	520	581	627	640	638	658	816	840
ヘルスケア	100	127	116	88	87	80	75	70	70	67	66	67	59
卸売	448	466	507	544	556	552	595	679	679	698	804	991	1,009
その他	200	212	214	209	209	240	215	246	224	238	236	264	305
調整額	-309	-340	-374	-423	-419	-465	-469	-560	-543	-585	-877	-1,073	-1,169
合計	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	2,080	2,281	2,275

## 営業利益 (B)

化学品	16	19	19	19	39	38	34	30	13	15	38	14	8
機能性材料	48	72	88	120	120	125	142	150	170	224	276	254	233
農業化学品	44	50	62	92	108	132	164	184	193	182	181	231	233
ヘルスケア	46	52	49	23	20	17	12	10	9	4	28	30	26
卸売	13	14	15	17	18	17	18	20	21	25	29	37	33
その他	3	7	8	6	5	10	6	9	7	8	7	9	9
調整額	-15	-19	-19	-24	-24	-25	-26	-32	-27	-33	-49	-52	-56
合計	155	195	222	253	286	314	350	371	386	425	510	523	486

## 営業利益率 (C) = (B)/(A)

化学品	4.3%	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	9.7%	8.4%	3.8%	4.7%	10.1%	3.6%	2.1%
機能性材料	14.1%	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	24.1%	23.8%	26.0%	31.3%	33.8%	30.8%	27.6%
農業化学品	13.0%	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	28.2%	29.3%	30.2%	28.5%	27.5%	28.3%	27.7%
ヘルスケア	46.0%	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	16.0%	14.3%	12.9%	6.0%	42.4%	44.8%	44.1%
卸売	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.0%	2.9%	3.1%	3.6%	3.6%	3.7%	3.3%
その他	1.5%	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	2.8%	3.7%	3.1%	3.4%	3.0%	3.4%	3.0%
合計	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	24.5%	22.9%	21.4%

## セグメント資産 (2022年度)(D)

化学品	343
機能性材料	613
農業化学品	1,038
ヘルスケア	77
卸売	368
その他	136
調整額	412
合計	2,987

## ROA(2022年度) (E) = (B)/(D)

化学品	4.1%
機能性材料	41.4%
農業化学品	22.3%
ヘルスケア	39.0%
卸売	10.1%
その他	6.6%
合計	17.5%

- ※ 2011：旧セグメント(2011年6月組織変更前), 2012-：新セグメント(2011年6月組織変更後)
- ※ 売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む
- ※ 2021-：会計方針の変更による売上高減少を含む(p47参照)
- ※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか
- ※ 2022年4月に組織改定を実施。2020年度実績までは旧セグメント区分、2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p48参照)
- ※ 2023(予想)：2023年11月発表

- ※ 2019-：新方式セグメント別営業利益
  - 2020年度より変更(売上高は変更なし)
  - 2019年度は遡及して再計算
  - 連結調整(固定資産未実現利益、棚卸資産未実現利益など)は、旧方式では各セグメントに配賦していたが、新方式では各セグメントに配賦せず調整額で一括処理

# セグメント別売上高 四半期推移(2020年度～2023年度3Q)

	2020年度 実績					2021年度 実績					2022年度 実績					2023年度 実績			2023年度 予想 (2023年11月発表)
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	3Q
化学品	74	73	83	89	319	88	83	105	100	376	104	94	101	91	390	91	88	96	105
ファインケミカル	27	27	28	32	114	32	30	37	32	131	42	35	33	28	138	30	30	30	37
基礎化学品	47	46	55	57	205	56	53	68	68	245	62	59	68	63	252	61	58	66	68
機能性材料	171	175	192	178	716	200	196	209	212	817	218	202	206	200	826	208	197	214	212
農業化学品	146	111	63	318	638	134	116	119	289	658	197	160	131	328	816	188	165	132	139
ヘルスケア	15	15	14	23	67	11	22	20	13	66	17	15	16	19	67	20	15	13	11
ヘルスケア	7	8	6	8	29	6	8	5	6	25	8	6	4	6	24	6	7	6	6
ファインテック	8	7	8	15	38	4	15	14	8	41	8	10	12	13	43	13	9	7	5
卸売	182	155	178	183	698	178	186	222	218	804	237	240	270	244	991	243	245	283	273
その他	48	46	68	76	238	49	55	61	71	236	65	59	67	73	264	64	59	60	63
調整額	-143	-123	-161	-158	-585	-195	-205	-241	-236	-877	-255	-258	-294	-266	-1,073	-265	-261	-302	-323
合計	493	452	437	709	2,091	465	453	495	667	2,080	583	512	497	689	2,281	549	508	496	480

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ ヘルスケアセグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

※ 2020年度より、ファインオキシコールを基礎化学品からファインケミカルへ移管している

※ 卸売: 日星産業、その他: 日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ(旧社名: 日本燐酸、硫酸の製造。2023年度より連結子会社化)・日本肥糧ほか、調整額: 企画本部ほか

※ 2022年4月に組織改定を実施。2020年度実績は旧セグメント区分(p48参照)

# セグメント別営業利益 四半期推移(2020年度～2023年度3Q)

	2020年度 実績					2021年度 実績					2022年度 実績					2023年度 実績			2023年度 予想 (2023年11月発表)
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	3Q
化学品	7	-8	7	9	15	13	-1	13	13	38	17	-6	4	-1	14	9	-10	4	4
機能性材料	53	54	63	54	224	69	62	76	69	276	79	60	69	46	254	65	46	63	58
農業化学品	40	38	-13	117	182	40	29	30	82	181	68	53	31	79	231	66	50	29	29
ヘルスケア	-1	1	0	4	4	3	11	9	5	28	8	7	6	9	30	11	7	5	3
ヘルスケア	-2	-1	-4	-2	-9	2	3	2	2	8	4	2	1	2	9	3	3	2	2
ファインテック	2	2	3	6	13	1	8	8	3	20	4	5	6	7	21	8	4	3	1
卸売	7	5	7	6	25	7	6	9	7	29	10	9	10	8	37	9	9	10	8
その他	0	0	4	4	8	1	-1	2	5	7	1	0	2	6	9	2	0	-3	-3
調整額	-8	-8	-12	-5	-33	-14	-12	-13	-10	-49	-10	-14	-16	-12	-52	-12	-11	-15	-20
合計	98	82	56	189	425	119	94	126	171	510	173	109	106	135	523	150	91	93	79

※ ヘルスケアセグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ(旧社名：日本磷酸、硫酸の製造。2023年度より連結子会社化)・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか

※ 2022年4月に組織改定を実施。2020年度実績は旧セグメント区分、2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p48参照)

# 会計方針の変更(2021年度～)

2021年度より会計方針を変更。本ページは2022年5月発表 2021年度決算説明資料から変更なし

## 1. 方針の変更

「収益認識に関する会計基準(企業会計基準29号)」を適用

## 2. 適用時期 2021年4月1日より

## 3. 方針変更に伴うPL、BSへの主な影響

### 2021年度のPLへの影響額(前年同期比)

(億円)

	2021実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高の増減※1	-35	-74	-109	-17	-103	-120	-229
営業利益の増減※2	+12	-21	-9	+40	-32	+8	-1

※1 (1)代理人取引、(2)売上高を基礎としたロイヤリティ収入、(3)変動対価、の影響合計

※2 (2)売上高を基礎としたロイヤリティ収入、(3)変動対価、の影響合計

### (1) 代理人取引

主たる適用セグメント	化学品、農業化学品、卸売
適用後	売上総利益額見合の売上高のみ表示(適用前は売上高、売上原価を総額で表示)
2021年度PLへの影響額	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高、売上原価がそれぞれ228億円減少、営業利益には影響せず</li> <li>各セグメントの売上高には影響させず、「調整額」で控除</li> </ul>

### (2) 売上高を基礎としたロイヤリティ収入

主たる適用セグメント	農業化学品(動物薬ロイヤリティ収入)
適用前(2020年度まで)	MSD社※ 1-6月売上高見合を8月、7-12月売上高見合を翌年2月に計上
適用後(2021年度より)	MSD社※ 1-3月売上高見合を5月、4-6月売上高見合を8月、7-9月売上高見合を11月、10-12月売上高見合を翌年2月に計上

※ MSD社:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称

### (3) 変動対価(販売時点では変動する可能性のある売上値引など)

主たる適用セグメント	農業化学品
適用後	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上期間に応じて見積もり計上(適用前は金額確定時に計上)</li> <li>適用前に比べ、値引額は1Q増加(マイナス影響)、2Q減少、上期増加、下期減少、年間ほぼなし、の傾向</li> </ul>
2021年度BSへの影響額	2021年度期首利益剰余金(BS項目)が2020年度の遡及修正で15億円減少(税効果反映後)
適用前(2020年度)	2020農年(2019年10月-2020年9月)の売上見合い値引きのみ計上
適用後(2020年度)	上記に加え、2020年10月-2021年3月の売上見合い値引き15億円追加計上

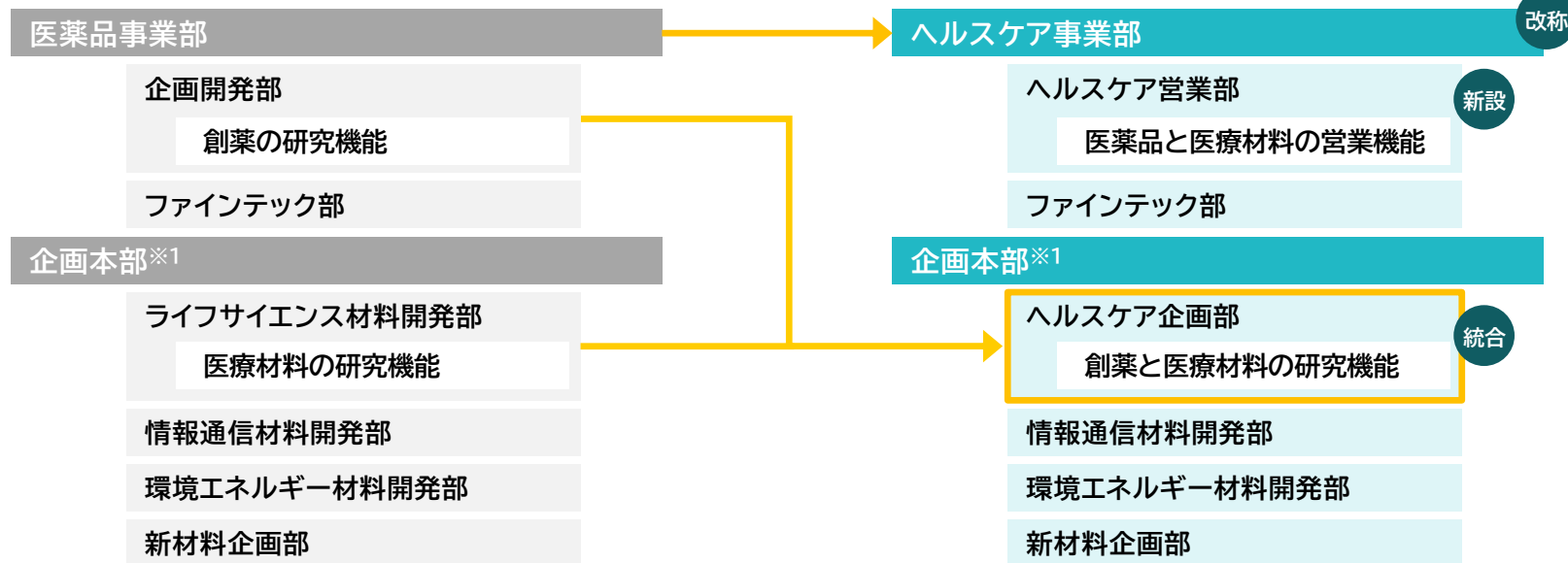
事業環境の変化を適切にとらえながら中長期的な成長を実現していくため、2022年4月1日付で以下の組織改定を実施(2022年8月発表 2022年度1Q決算説明資料から変更なし)

## 医薬品事業部および企画本部※1ライフサイエンス材料開発部の組織改定

**目的** 創薬・医療材料の機能統合(研究機能を企画本部※1。営業機能をヘルスケア事業部)

改定前

改定後



※1 企画本部は、セグメントでは「調整額」に含まれる。



セグメント		製品名	主用途
化学品	ファインケミカル	テピック	エポキシ樹脂: ソルダーレジストインク材料、LED封止材等、粉体塗料硬化剤
		メラミンシアヌレート	難燃剤
		環境化学品	プール、浄化槽用殺菌消毒剤
		ファインオキシコール	化粧品原料、潤滑油原料、電子材料用接着剤原料
	基礎化学品	メラミン(22年6月生産停止)	接着剤
		アドブルー®	ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水
		高純度硫酸	半導体用洗浄剤
		アンモニア、硫酸、硝酸、尿素	
機能性材料	ディスプレイ	サンエパー	液晶配向材用ポリイミド
		(主要モード) VA	Vertical Alignment: テレビ
		IPS	In-Plane Switching: スマートフォン、タブレット、PC、モニター、車載
	半導体	ARC®(KrF, ArF)	半導体用反射防止コーティング材
		多層材料(OptiStack®)	半導体用多層プロセス材料(Si-HM, SOC)
		EUV材料	EUVプロセス材料(下層膜、Si-HM)
	無機コロイド	スノーテックス	コロイダルシリカ: 研磨剤(シリコンウェハー、化合物半導体、半導体CMP等)、特殊鋼板
		オルガノゾル・モノマーゾル	有機溶媒・モノマー分散シリカゾル: フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤
		オイル&ガス材料	シェールオイル・ガス採掘効率向上材
	農業化学品	除草剤	タルガ
パーミット			とうもろこし、さとうきび、稲
ラウンドアップ			非選択性茎葉処理除草剤: 非農耕地、果樹園
アルテア			稲
殺虫剤		グレーシア	野菜、茶
殺菌剤		ライメイ	ばれいしょ、野菜、ブドウ
		ダイセン(マンゼブ)	果樹、野菜
動物医薬品		フルララネル	ペット用外部寄生虫薬BRAVECTO®、鶏・牛・羊用EXZOLT®原薬
ヘルスケア	リバロ原薬	高コレステロール血症治療薬	
	ファインテック	課題解決型受託事業およびジェネリック製品開発	

※ アドブルー®はドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標 ※ ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標  
 ※ BRAVECTO®およびEXZOLT®はMSD の登録商標

---

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。

本決算説明資料に掲載されている全てのコンテンツは、日産化学株式会社が所有しています。

---